

2021 年 4 月 26 日

ニューノーマル時代の新しい家族の繋がりを考えた平屋の住まい
『カサート 平屋 スキップスタイル』を新発売
～縦に広がる空間構成で、コミュニケーションとパーソナルを両立～

パナソニック ホームズ株式会社は、ニューノーマル時代の新しい家族の繋がりを考えた平屋の住まい『カサート 平屋 スキップスタイル』を、4月27日から新発売します。



『カサート 平屋 スキップスタイル』外観イメージ



「ダウンフロア」「アップフロア」「ロフト」の空間例

今回新発売する『カサート 平屋 スキップスタイル』は、ニューノーマル時代において新しい家族の繋がりを考えた平屋の住まいです。深い軒下が室内外を自然に繋ぐ「軒下屋外テラス」をはじめ、床面を上げ下げした「ダウンフロア」や「アップフロア」、屋根裏に設ける「ロフト」等を組み合わせた空間を提案。ワンフロアである平屋に、深い軒下空間や床高の変化、屋根裏の利用で縦横の変化を持たせ、視線のレベルを変えることによって、家族は同じ空間の中でお互いの気配を感じながら、それぞれの趣味や仕事に没頭することができます。

「家族と共に過ごす空間」(コミュニケーション)と「自分ごとに集中できる空間」(パーソナル)を両立できることが、同住宅の最大の特長となっています。

このほか、窓を開けなくても家中の空気を浄化・換気し、年中快適な温度に保つ当社オリジナルの全館空調「エアロハス」や、平屋において広くなる屋根面積を生かす「創蓄連携システム」等、在宅の長時間化に伴い高まる健康・省エネのニーズに対応する提案を随所に取り入れています。

当社は、『カサート 平屋 スキップスタイル』の新発売により、若年層からシニア層まで幅広い需要年齢層のニーズに応える新しい暮らしを提案し、平屋市場のさらなる拡大を目指します。

◆開発の背景

近年の新設住宅着工数においては平屋が増加傾向にあり、従来はシニア層中心であった顧客層が、20～30歳代のいわゆる一次取得層へシフトしてきています。また一方で、昨今のコロナ禍による在宅ワークやステイホームに代表される生活ニューノーマルな様式が生まれ、自宅を中心とした暮らし方や働き方が急速に普及しつつあり、必ずしも都市・都市近郊での居住に拘らないことや、在宅の長時間化に伴う新しいニーズや価値観も生まれてきています。

また、平屋住宅には、地震の揺れによる建物への負担が少なく、ワンフロアで暮らせてバリアフリー化しやすい利点もあります。当社の2020年度における平屋住宅の受注は、対前年度比125%の伸長となりました。

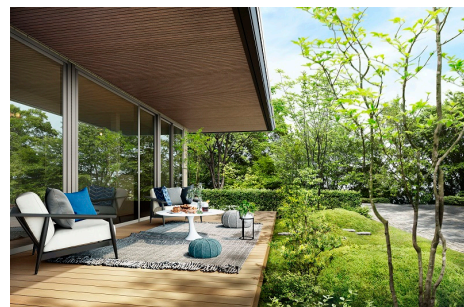
一方、当社が2020年7月、「コロナ禍における暮らしの実態や困りごと」について一般消費者に向けて実施したアンケート調査※¹では、在宅ワークでは夫と妻で仕事をする場所が異なり、お互いそれぞれのスペースが欲しいことや、家族と一定の距離を保てる場所の要望が顕在化しています。

当社は、平屋住宅が本来持つ様々な利点と工業化住宅の優れた性能・品質・省エネ性能をベースに、昨今のニューノーマルな暮らしや生活者のニーズを各種のプラン提案として反映させた新商品として、このたび『カサート 平屋 スキップスタイル』を開発しました。

◆『カサート 平屋 スキップスタイル』概要

① 最長約 3m の深い軒下空間が室内・室外をシームレスにつなぐ「軒下屋外テラス」

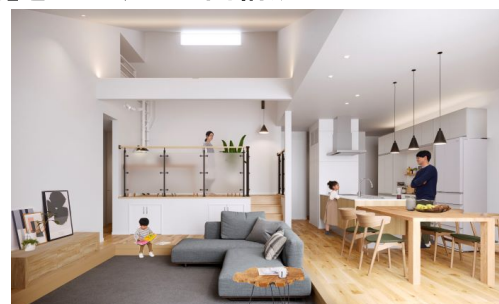
リビング・ダイニングと繋がる室外は、最長約 3m の深い軒下空間の設計が可能。ウッドデッキやテラスを設置し、開放的な室内・室外をシームレスにつなぐことで、リビングとアウトドアをゆるやかに融合する新しい空間での過ごし方を提案します。



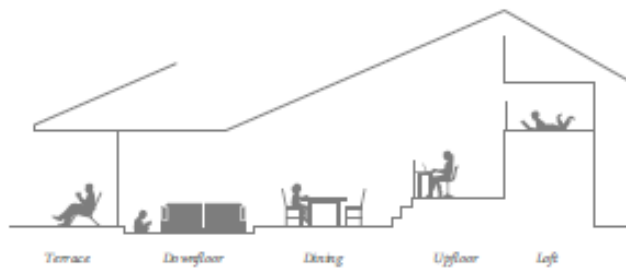
② 「家族と共に居られる空間」と「自分ごとに集中できる空間」を両立する空間構成

平屋ならではの勾配天井を生かした、のびやかなLDKは、天井をより高く、適度なこもり感を創出する「ダウンフロア」(床下げ)と、在宅勤務や遊びのスペースとしてマルチに使える「アップフロア」(床上げ)をひとつの空間としてまとめています。

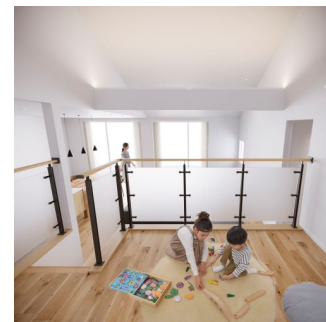
ワンフロア & 水平方向に広がるワンルームの空間内に、床の上げ下げで縦方向の変化を持たせて視線のレベルを変えることで、「家族と共に居られる空間」と「自分ごとに集中できる空間」を両立できます。



LDK のプラン例



フロア構成のイメージ



アップフロア空間のプラン例

③ 縦横に広がる開放的なリビング・ダイニング

リビング・ダイニングは、最長約 6m の柱スパン(間隔)や約 2.7m の天井高、勾配天井を組み合わせた縦横に伸びる大空間が実現可能。また、開口高が床から天井まであり、窓上の垂れ壁を解消するフルハイトサッシによりノイズレスな空間を実現。

さらに、空間に変化をもたらす勾配天井やロフトの設置により、邸宅感あふれる居室にすることが可能です。



リビング・ダイニングのプラン例

④ 安全・安心で健康・快適、省エネルギーな平屋の暮らしを支えるさまざまな提案

●繰り返す地震にもゆがみを防ぐ優れた耐震性能を備え、「地震あんしん保証」も付帯

当社の住宅は、過去の大地震において倒壊ゼロの実績に加え、超高層ビルと同じ構造技術による優れた耐震性能により、日本最大級の耐震実験^{※2}においても地震に対する強さを実証しています。また、優れた耐震性能だからこそ実現した「地震あんしん保証」^{※3}を付帯。万一の地震の揺れにより、建物が全壊・半壊した場合には、当社が責任を持って原状復帰します。加えて、地震保険に加入することで「建物の再建」と「生活の再建」が可能となり、さらに安心です。

●家中の空気を浄化・換気し、年中快適な温度に保つ当社オリジナル全館空調「エアロハス」

換気・空調システムでは、空気中の PM2.5^{※4}をはじめとする 0.3 μm の微粒子を 99.97% 捕集する^{※5}「HEPA フィルター」を採用。室内に取り込む空気はもちろん、家じゅうをめぐる空気をきれいに浄化。さらに、専用エアコン 1 台で、真夏・真冬も、昼も夜も、家じゅうを安定した温度に保つ全館空調システム「エアロハス」を用意。部屋ごとの温度差が大きくなるエアコンによる個別空調と異なり、長時間化する在宅時間も健康で快適に過ごせます。

●平屋の広い屋根面積を生かして、毎日万が一も安心して暮らせる「創蓄連携システム」

在宅時間が長くなると光熱費が増えることが、生活者の課題として顕在化してきています。

2 階建て住宅に比べて屋根面積が大きくなる平屋では、太陽光発電システムの搭載容量も多く確保でき、より多くのクリーンな電気を創り出すことが可能です。『カサート 平屋 スキップスタイル』では、太陽光発電したクリーンな電気を暮らしに使えるほか、余剰電力をリチウムイオン蓄電池ユニットに蓄電できることで、暮らしに必要な電気代を抑えながら、万一の停電時にも電気が使えて安心な「創蓄連携システム」を用意。また、建物の優れた省エネルギー性能により、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)にも対応できます。

なお、『カサート 平屋 スキップスタイル』は、国土交通省がグリーン社会の実現に向けて進める「グリーン住宅ポイント制度」に対応しており、一定要件を満たせば、「新たな日常」及び「防災」に対応した追加工事や様々な商品と交換できるポイントの交付を受けることができます。

商 品 名	: 『カサート 平屋 スキップスタイル』
発 売 日	: 2021 年 4 月 27 日
構 造	: 制震鉄骨軸組構造
参 考 価 格	: 3.3 m ² あたり 90 万円台より(標準本体価格・消費税込) ※価格は、地域、延床面積および設備・仕様等により異なります
販 売 地 域	: 北海道および一部地域を除く全国
販 売 目 標	: 初年度 120 棟

◎『カサート 平屋 スキップスタイル』の詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/sumai/hiraya/>

- ※1: 調査 A/調査方法= WEB アンケート、対象者=全国 30～40 歳代子持既婚の男女 300 人・男女とも有職者でコロナ禍での在宅勤務あり、調査期間=2020 年 7 月 22 日～7 月 30 日。調査 B/調査方法= WEB アンケート、対象者=全国 25～44 歳 未既婚男女 計 1052 人、調査期間= 2020 年 6 月 25 日～6 月 30 日
- ※2: 2011 年 6 月、日本最大の加振能力を有する実験施設にて実施。基礎については、本実験施設では確認できないため、他の実験でクラック・割れが生じても、建物が安全であることを確認しています。建物条件によっては同様の実験結果とならない場合もあります。当実験で制震鉄骨軸組構法の高い耐震性は確認できましたが、実際の地震におけるお客さまへの保証は保証基準に基づきます。
- ※3: 地震あんしん保証には条件がありますので、詳細はホームページにてご確認ください。建物全壊時に建て替え、半壊時に補修により原状復帰の役務を提供するもので、金銭をお支払いするものではありません。
また、地盤沈下・津波・火災による損害は対象外となりますので、地震保険の加入を推奨します。
- ※4: PM2.5 は粒径が 2.5 μm(マイクロメートル)以下の微小粒子状物質の総称。1 μm は 1mm の 1000 分の 1。
- ※5: HEPA フィルターの性能値。工場出荷時の初期性能になります。換気システム全体の数値を示すものではありません。